

1. 構造名：

換気金物・化粧スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
軒の出	130～2000mm
軒の形状	勾配又は水平

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
軒天材	<p>材料：①又は②</p> <p>①化粧スラグせっこう板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8315)</p> <p>②スラグせっこう板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8314)</p> <p>形状：</p> <p>1) 外形寸法 厚さ：12 (±0.5) mm以上</p> <p>2) 端部形状：①又は②</p> <p>①突き付け</p> <p>②合いじゃくり 重なり：5mm以上 隙間：1mm以下</p> <p>3) 面取り：①又は②</p> <p>①なし</p> <p>②あり 面取り寸法：2mm以下</p> <p>4) 表面形状：①～④の一</p> <p>①平滑</p> <p>②エンボス</p> <p>③平滑・溝加工</p> <p>④エンボス・溝加工</p> <p>但し、②～④の最小厚さは12 (±0.5) mmを確保</p> <p>密度：0.9g/cm³以上</p> <p>表面塗装：</p> <p>種類：1)～9)の一</p> <p>1) アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>2) アクリル樹脂系塗料</p> <p>3) ウレタン樹脂系塗料</p> <p>4) エポキシ樹脂系塗料</p> <p>5) アクリルシリコーン樹脂系塗料</p> <p>6) フッ素樹脂系塗料</p> <p>7) 無機質系塗料</p> <p>8) 上記1)～7)の組み合わせ</p> <p>9) なし</p> <p>塗布量：200g/m²以下 (有機質固形分量)</p>

つづく

つづき

換気金物	本体	材料：①又は② ①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4305) 厚さ：0.4mm以上 ②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4304) 厚さ：0.4mm以上 寸法：幅 68.4 (±3) mm以上 高さ 14 (±2) mm以上 長さ 908.5 (±3) mm 換気孔の大きさ (1孔あたり)： 5.0 (±1) × 13.6 (±1) mm以下 換気孔間隔：2 (±1) mm以上 換気孔面積：176.8 (±15) cm ² 以下 塗装：1) 又は2) 1) ポリエステル樹脂系塗料 2) エポキシポリエステル樹脂系塗料 塗厚：200 (±20) μm以下 形状：リブあり又はなし
	スペーサー	仕様：(1) 又は (2) (1) なし (2) あり (被覆材厚さが14mm以上の場合) 材料：①又は② ①冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4305) 厚さ：2.0mm以上 ②熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4304) 厚さ：2.0mm以上 寸法：15 (±1) × 15 (±1) mm以上
	加熱発泡材	材料：グラファイト系加熱発泡材 組成 (質量%)： 耐熱性繊維類 20 (±5) 特殊ゴムバインダー 15 (±5) 膨張性黒鉛 30 (±5) 粉末充てん材 20 (±5) 難燃剤・ゴム薬品 15 (±5) 寸法：幅 12.3 (±1.2) mm以上 厚さ 2.3 (±0.3) mm以上
	取付位置	壁から 30mm 以上 (水平距離)

つづく

つづき

野縁	<p>材料：日本農林規格の品質を満足する木材（製材、集成材、単板積層材、又は桝組壁工法用製材若しくはたて継ぎ材）</p> <p>断面寸法：30×40mm以上</p> <p>取付間隔：軒の出方向500mm以下 軒の幅方向455mm以下</p>
吊木	<p>仕様：(1) 又は (2)</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) あり（野縁をたる木に直接留付けない構造で、軒の出が500mmを超える場合、又は必要に応じて取付ける場合）</p> <p>材料：日本農林規格の品質を満足する木材（製材、集成材、単板積層材、又は桝組壁工法用構造用製材若しくはたて継ぎ材）</p> <p>断面寸法：30×30mm以上</p> <p>取付間隔：軒の幅方向1820mm以下</p>

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
目地部材	<p>仕様：(1) 又は (2)</p> <p>(1) なし (突き付け目地、又は合いじゃくり目地)</p> <p>(2) 金属ジョイナー目地</p> <p>材質：1) ～19) の一</p> <p>1) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697)</p> <p>2) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302)</p> <p>3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3312)</p> <p>4) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317)</p> <p>5) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3318)</p> <p>6) 溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321)</p> <p>7) 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3322)</p> <p>8) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>9) 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)</p> <p>10) 冷間圧延鋼板及び鋼帯 (JIS G 3141)</p> <p>11) 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 (JIS G 3131)</p> <p>12) 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3313)</p> <p>13) 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3314)</p> <p>14) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)</p> <p>15) 熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4304)</p> <p>16) 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 (JIS G 4305)</p> <p>17) 溶融亜鉛－6%アルミニウム－3%マグネシウムめっき鋼板</p> <p>18) 溶融亜鉛－11%アルミニウム－3%マグネシウム－0.2%シリコン合金めっき鋼板</p> <p>19) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板</p> <p>厚さ：0.16mm以上</p> <p>形状：H形又はT形</p>

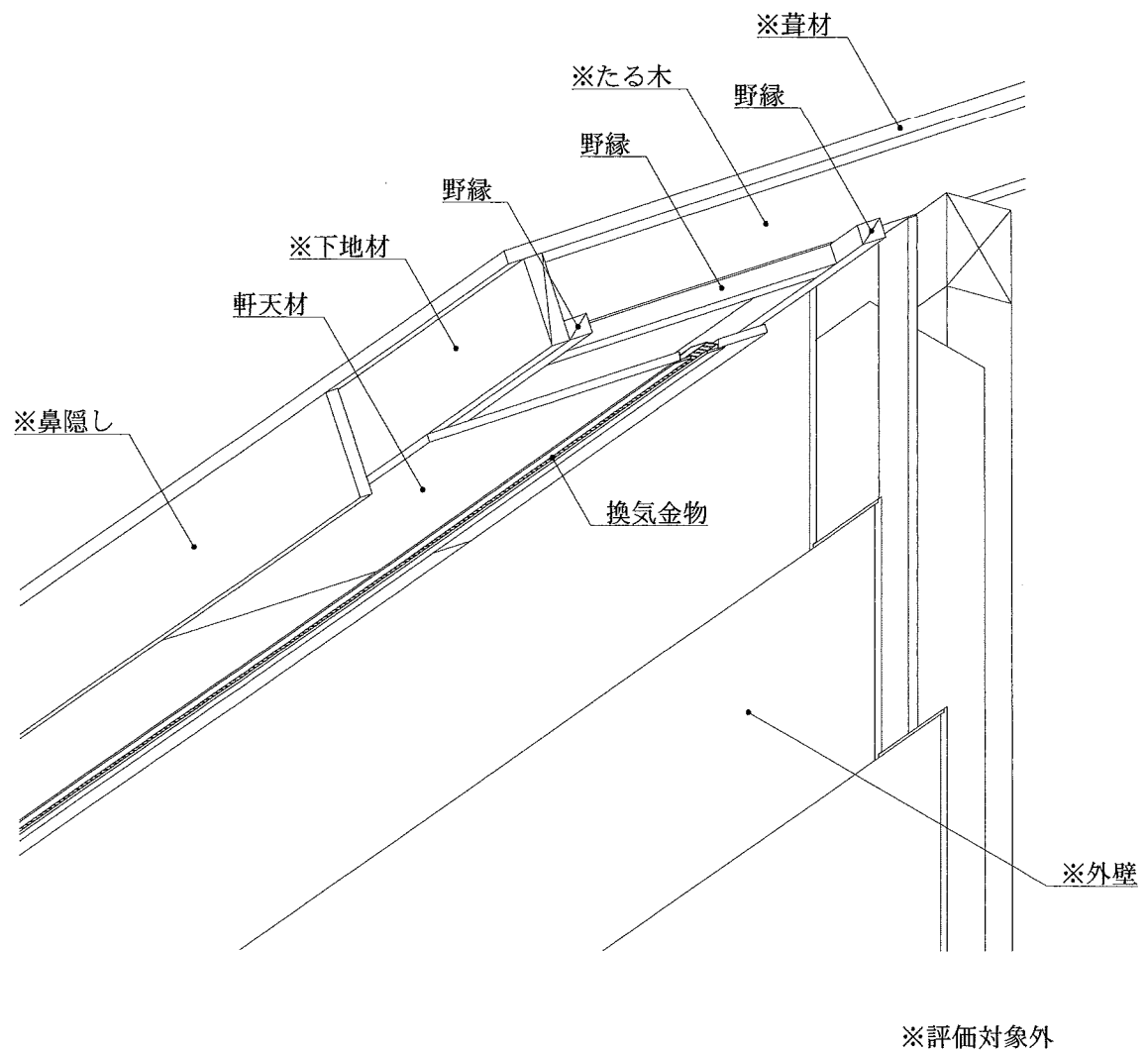
つづく

つづき

留付材	<p>換気金物固定用：</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：呼び径φ3.8×長さ38mm以上</p> <p>留付間隔：445.5mm以下</p>
	<p>軒天材固定用：</p> <p>材料：①、②又は③</p> <p>①スクリークぎ</p> <p>②リングくぎ</p> <p>①及び②の材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>①及び②の寸法：胴部径φ2.11×長さ38mm以上</p> <p>③ねじ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：呼び径φ3.0×長さ38mm以上</p> <p>留付間隔：</p> <p>軒の出方向180mm以下</p> <p>軒の幅方向294mm以下</p>
	<p>野縁固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：呼び径φ3.3×長さ65mm以上</p> <p>留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p>
	<p>吊木固定用(吊木を使用する場合)：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>材質：ステンレス鋼製又は鋼製</p> <p>寸法：呼び径φ3.0×長さ50mm以上</p> <p>留付間隔：軒の幅方向1820mm以下</p>

5. 仕様の構造説明図：

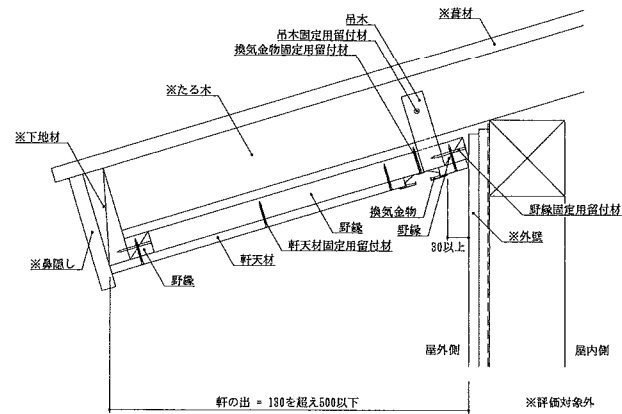
仕様の構造説明図を図1～図10に示す。



透視図 (軒天材勾配仕様)

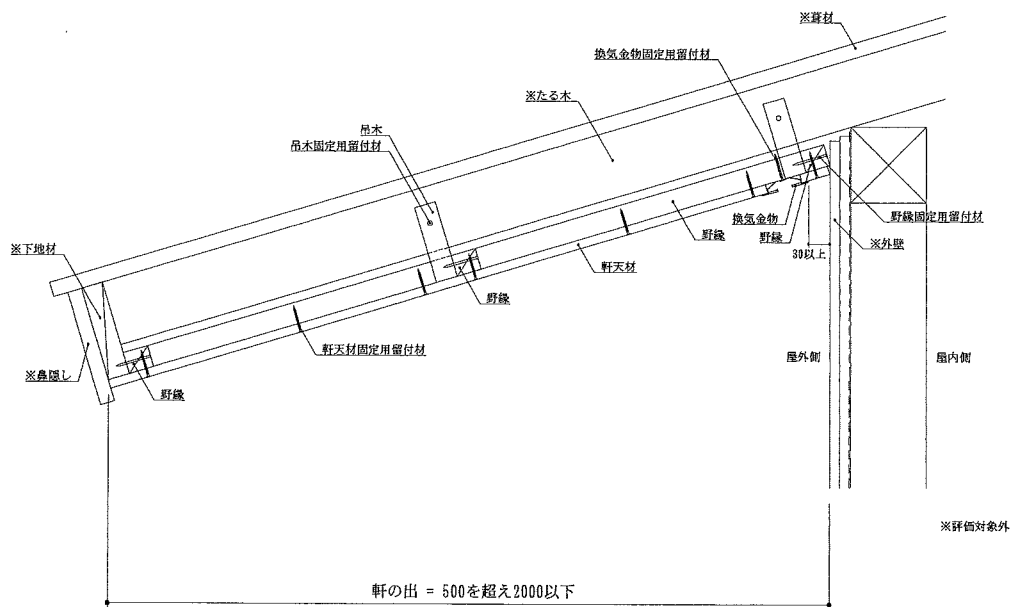
図1 構造説明図

軒の出が130を超え500以下の場合



軒部断面図(軒材勾配仕様・野縁を吊木に固定する場合)

軒の出が500を超えて2000以下の場合

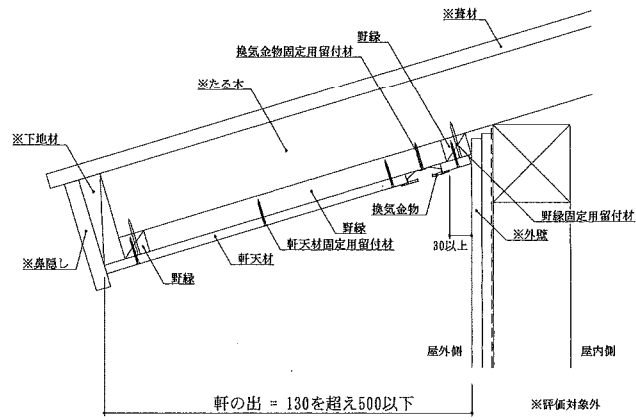


軒部断面図(軒材勾配仕様・野縁を吊木に固定する場合)

図2 構造説明図

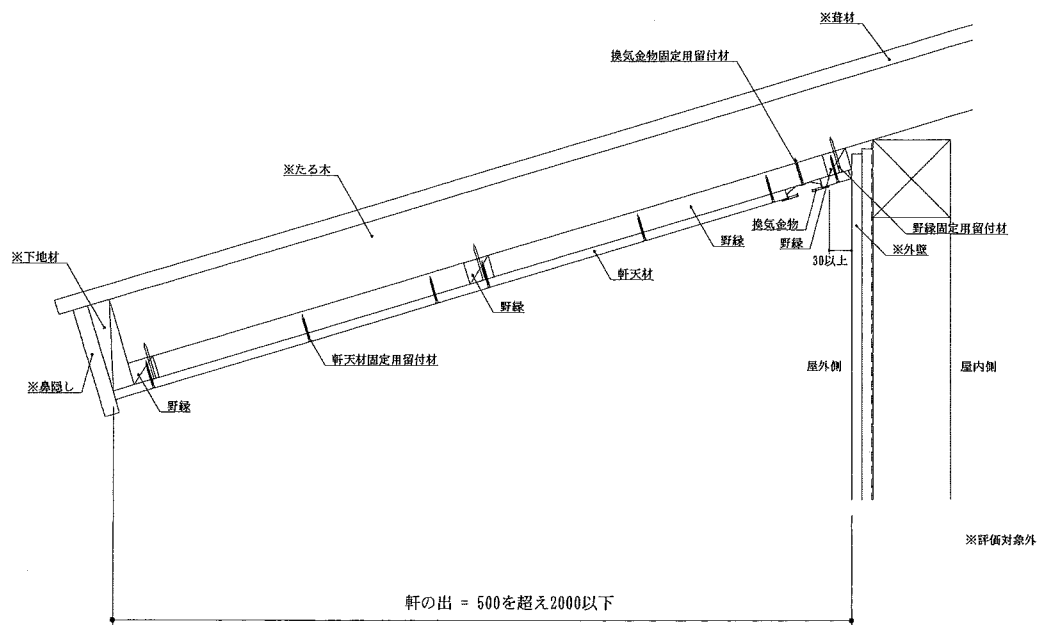
単位mm

軒の出が130を超え500以下の場合



軒部断面図(軒天材勾配仕様・野縁をたる木に固定する場合)

軒の出が500を超えて2000以下の場合

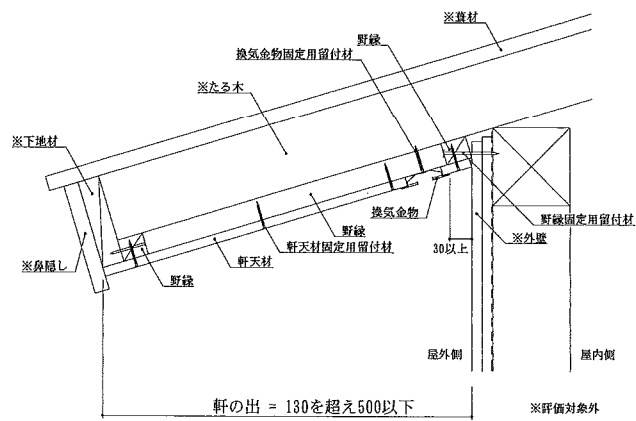


軒部断面図(軒天材勾配仕様・野縁をたる木に固定する場合)

図3 構造説明図

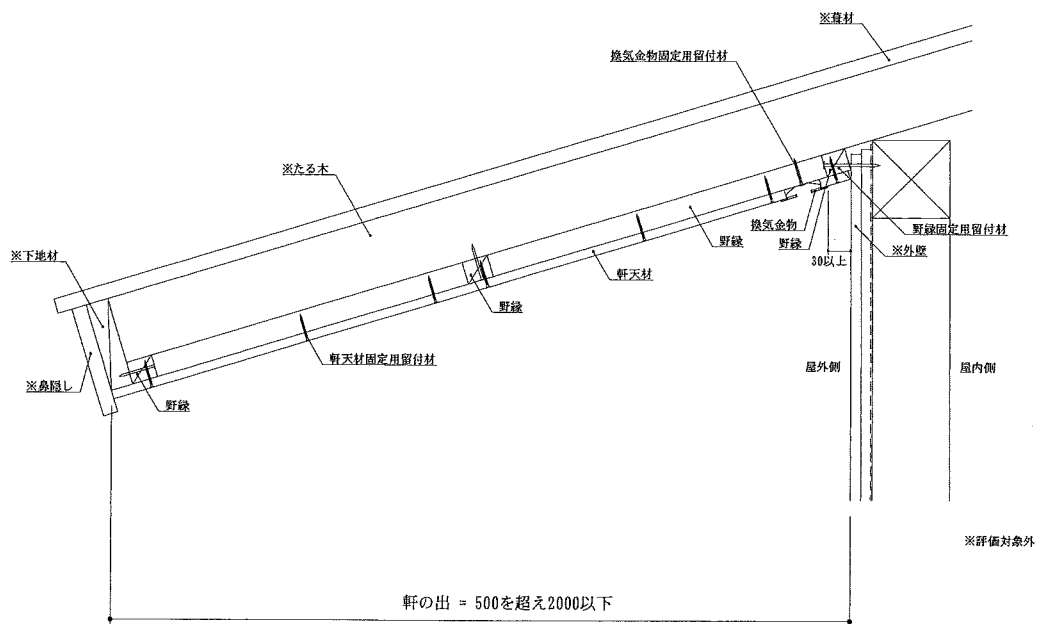
単位mm

軒の出が130を超え500以下の場合



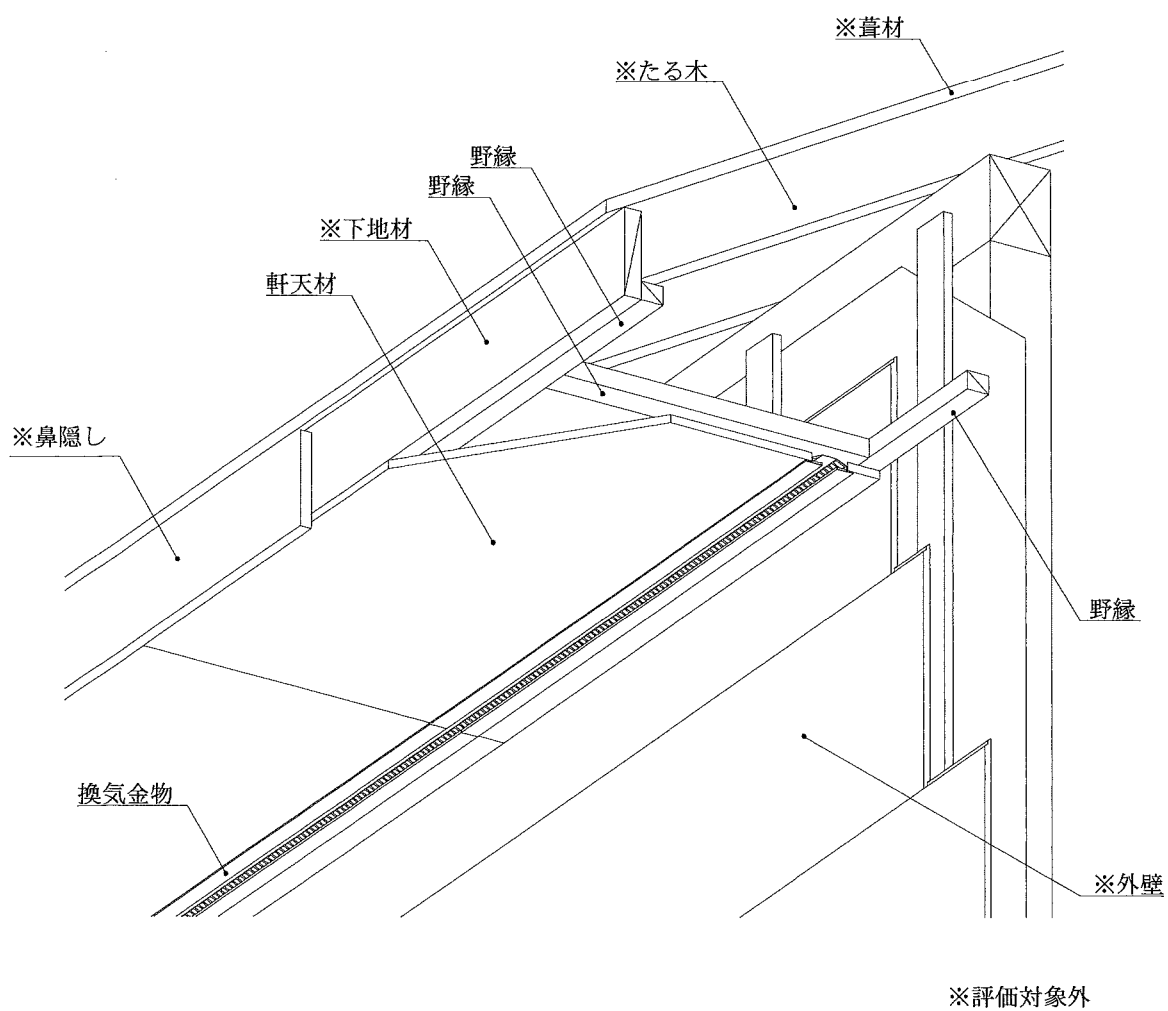
軒部断面図(軒天材勾配仕様・野縁を外壁に固定する場合)

軒の出が500を超えて2000以下の場合



軒部断面図(軒天材勾配仕様・野縁を外壁に固定する場合)

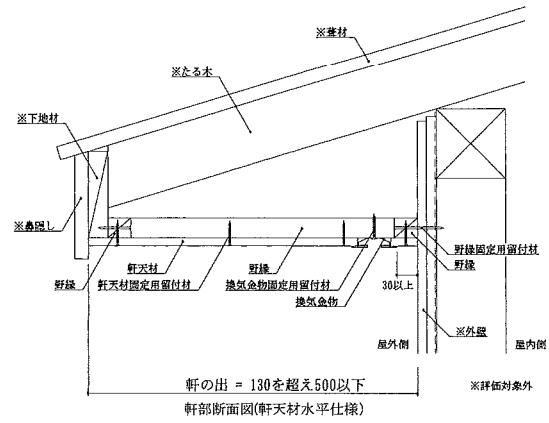
図4 構造説明図



透視図 (軒天材水平仕様)

図5 構造説明図

軒の出が130を超え500以下の場合



軒の出が500を超えて2000以下の場合

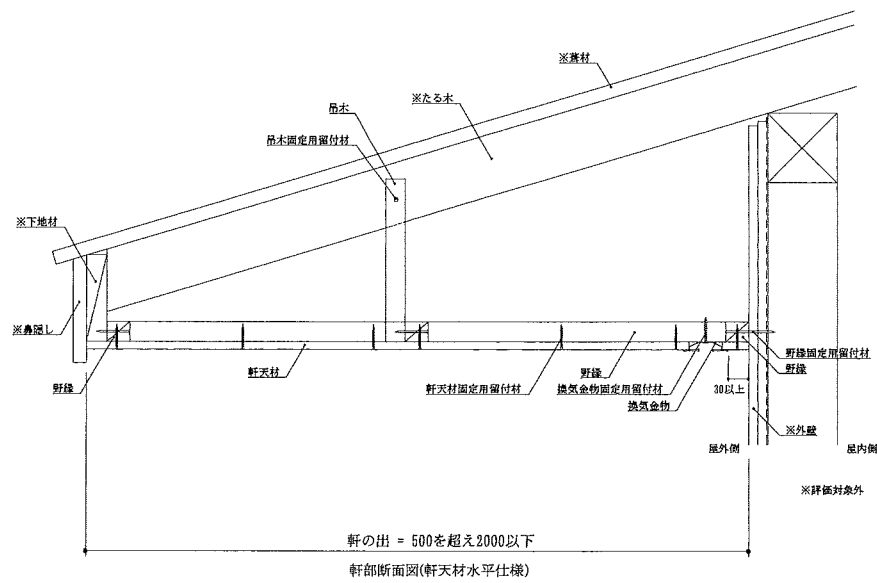


図6 構造説明図

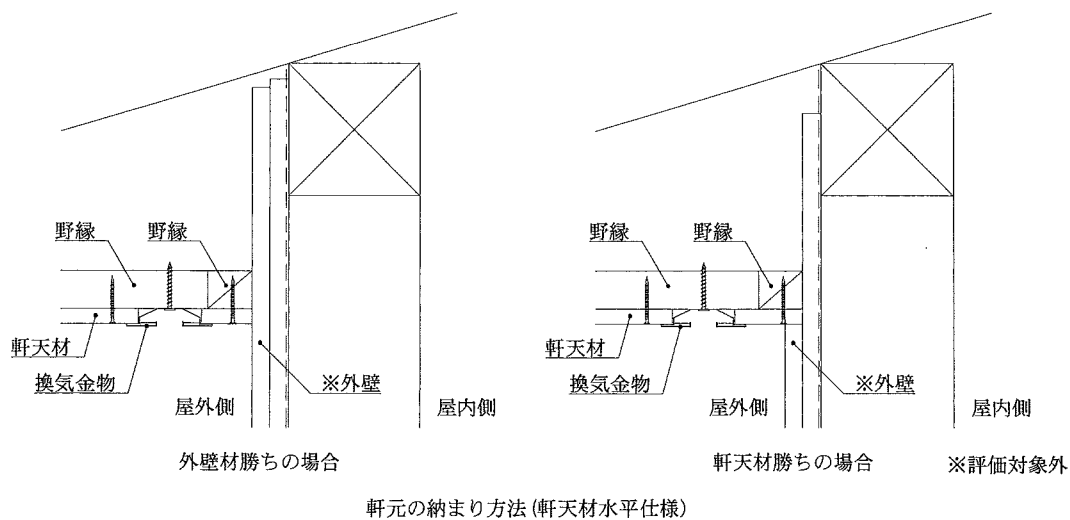
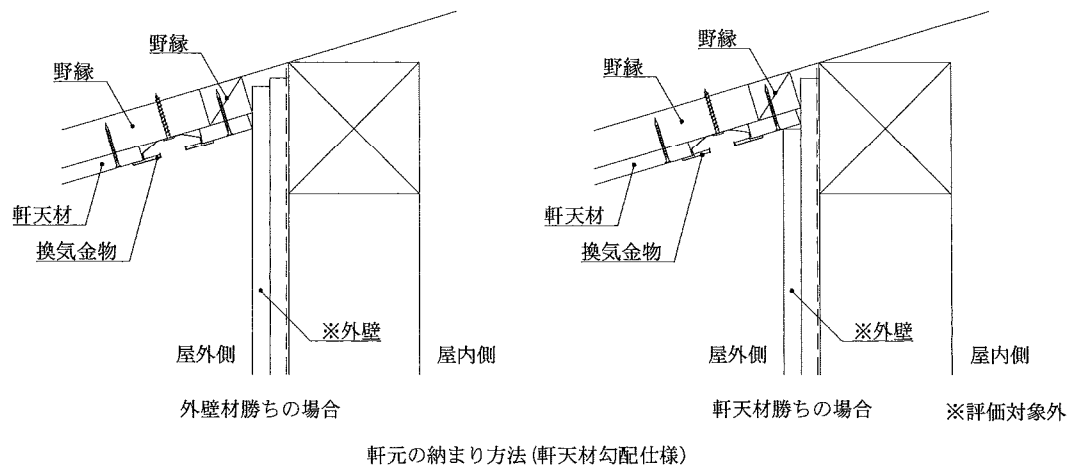


図7 構造説明図

軒天材の表面形状

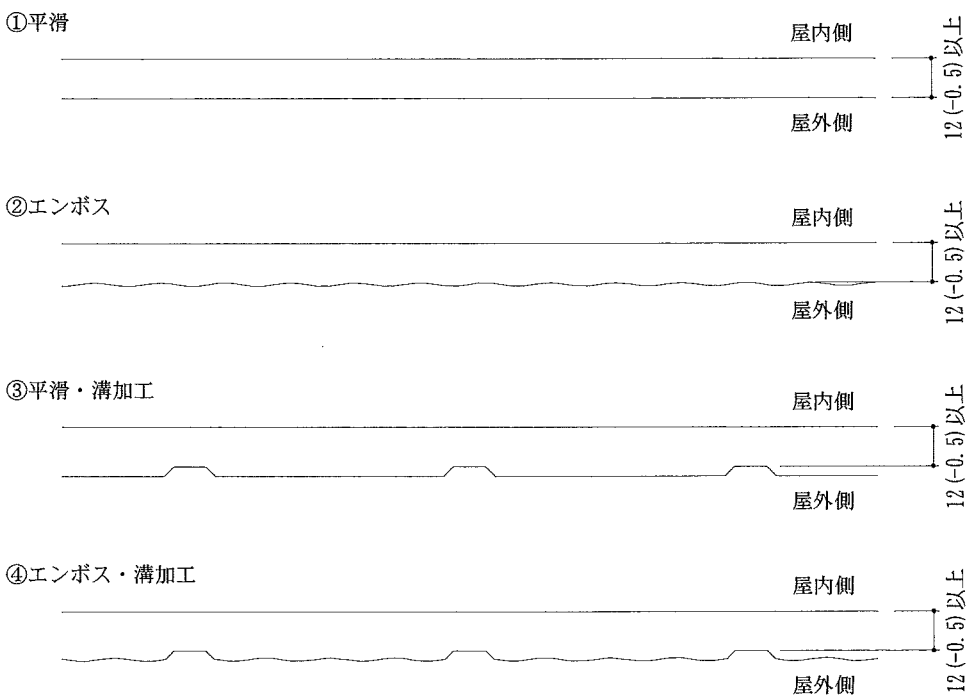
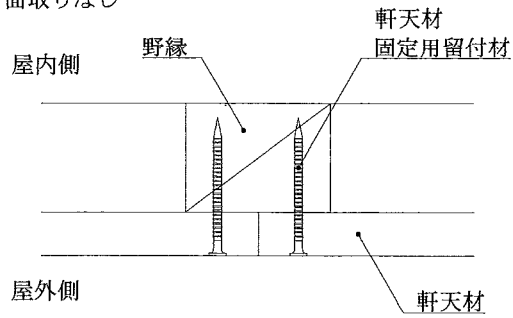


図8 構造説明図

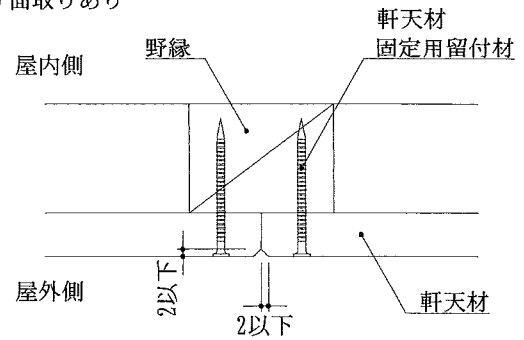
軒天材の端部形状

①突き付け目地

1) 面取りなし

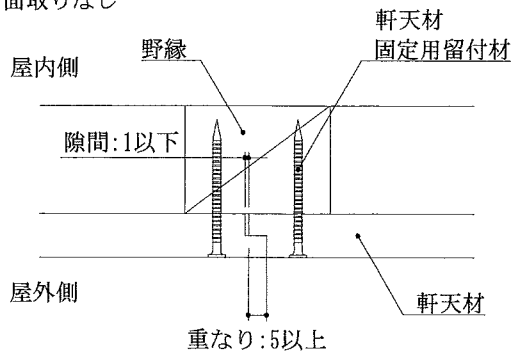


2) 面取りあり

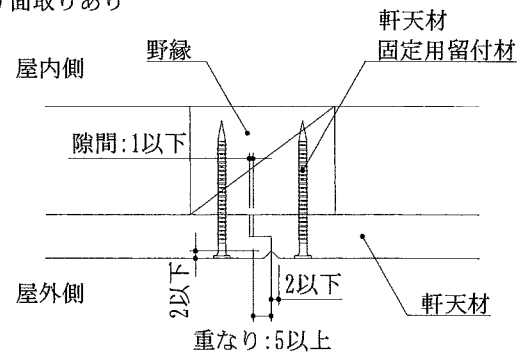


②合いじゃくり目地

1) 面取りなし

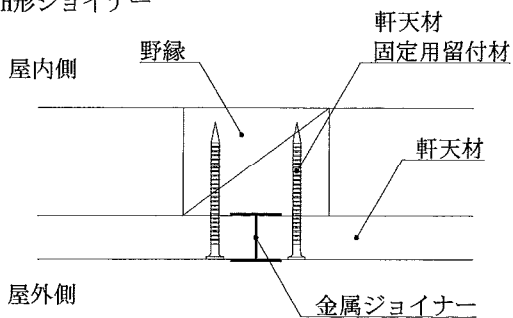


2) 面取りあり



③金属ジョイナー目地

1) H形ジョイナー



2) T形ジョイナー

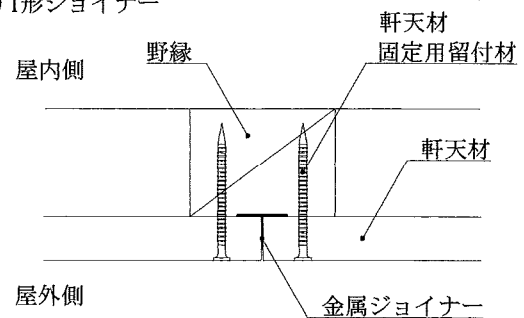
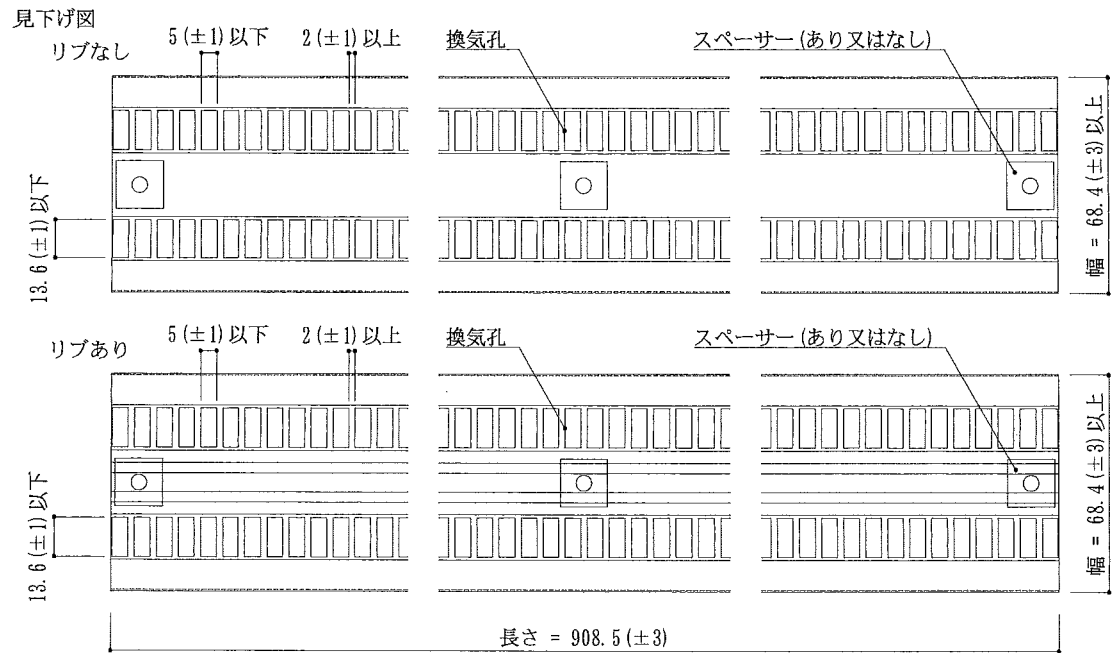


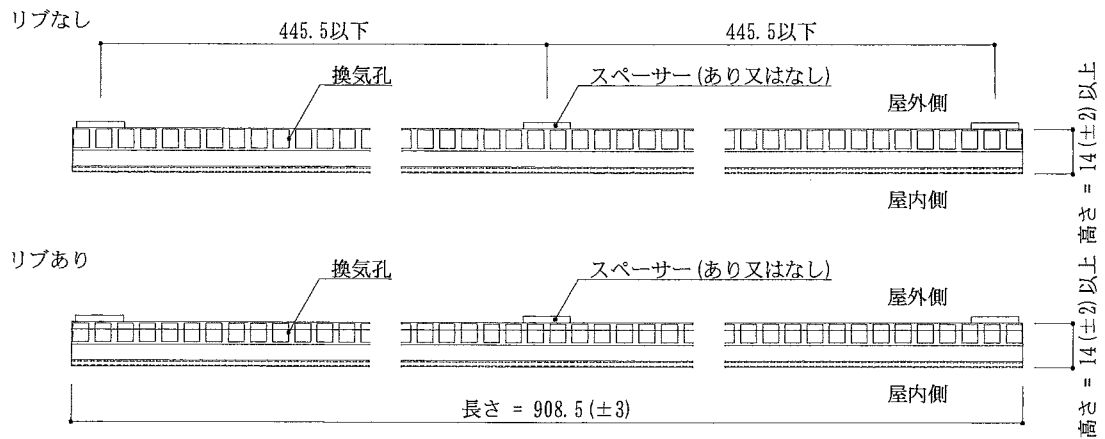
図9 構造説明図

単位mm

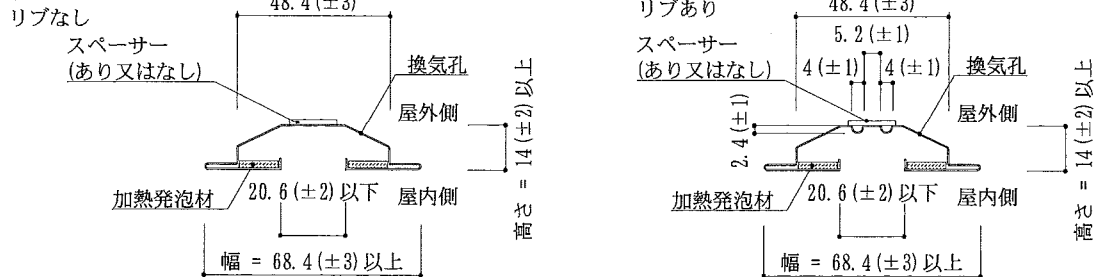
換気金物形状図



正面図



断面図



有効換気面積 (換気孔面積) : 最大176.8 (±15) cm²
(1孔あたり面積 : 0.68cm²)

図10 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 野縁の取付け

- ・野縁は、野縁固定用留付材を用いて軒の出方向500mm以下(軒先・軒元)、軒の幅方向455mm以下になるように格子に組む。
- ・軒元側の野縁は、野縁固定用留付材を用いてたる木、壁又はたる木に取付けした吊木に取付ける。軒先側の野縁は、野縁固定用留付材を用いて木製下地材又はたる木に取付ける。
- ・軒の出が500mmを超える場合は、軒の出方向の中間部に野縁を配置し、たる木又はたる木に取付けした吊木に野縁固定用留付材を用いて固定する。

(2) 軒天材の取付け

- ・軒天材は、軒天材固定用留付材を用いて野縁に固定する。
- ・軒天材の端部は、合いじゃくり、突き付け又は金属ジョイナー目地とし、軒の幅方向に配置した野縁の上に端部(目地)を設ける。
- ・軒天材と外装材は壁勝ち又は軒天材勝ちとし、必要に応じて金属製の木口見切り(評価対象外)又はシーリング材(評価対象外)等でおさめる。

(3) 換気金物の取付け

- ・換気金物は、換気金物固定用留付材を用いて野縁に固定する。換気金物は外壁面から30mm以上離れた位置に取付ける。
- ・換気金物を連続して使用する場合は、突き付けで配置する。
- ・換気金物の両端部は、必要に応じてエンドキャップを使用する。